

主 な 事 業 を お 知 ら せ し ま す

地 域 の 経 済 対 策

地場産業等活力強化基盤整備事業

8,000万円

高島地域の代表的な地場産業である織物業は、不況により大変厳しい経営環境に陥っています。こうした中で、事業者は新商品の開発と新規販路の開拓を課題として捉え、新しい加工方法の導入などに取り組んでおられます。しかし、準備工程で共同利用するサイジング設備の老朽化が進み、新商品・新技術の開発が困難となっていることから、高機能機械へ更新する経費の一部を補助し、織物業の活力強化と地場産業の振興を図ります。



竹林再生活活用推進事業

500万円

全国シェアの9割を占める扇骨産業については製品原価を抑えるため、原材料素材を長年にわたり中国産材等に頼ってきました。その反面、身近な地元産竹材の生産・流通システムが縮小・低迷することとなり、河川堤防の竹林は荒廃し環境悪化を招いています。そこで、荒廃した安曇川沿岸の竹林整備を行い、環境改善・景観形成を図ると共に、地元竹材の活用を進め、地元材を100%使った付加価値の高い扇子づくりを促進します。



子 育 て ・ 高 齢 者 支 援

介護老人保健施設整備事業

4億2,000万円

介護老人保健施設は、療養病床の再編により今後需要が激増することが見込まれていますが、高島市には60床しかないので、医療法人が実施する介護老人保健施設の整備に対して助成を行います。また、従来の鉄骨・鉄筋を使った施設ではなく、地元木材を使った介護老人保健施設の整備に対して助成を行うことで、森林資源を活用した林業・木材産業の再生を図ります。

地域介護・福祉空間整備事業

2億4,320万円

高齢化が急速に進むなか、介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で生活が続けられるよう地域密着型サービスの整備の推進を図るため、施設整備に対して助成を行います。また、円滑・早期に施設を開設できるよう開設準備経費の助成を行います。



私立保育園施設整備事業補助

4億979万円

愛隣保育園は、老朽化や耐震基準を満たしていないことから、平成21年度より園舎の移転改築に向けた整備が進められています。平成22年度は園舎全体の改築工事が計画されており、児童の安全と快適な保育環境を整えるため、園舎改築に伴う施設整備に対し支援を行います。

福祉後見サポートセンター設置運営事業補助

500万円

高島市社会福祉協議会では、判断能力が十分でない認知症高齢者や障がい者等の権利擁護と自立した生活を支援するため、「権利擁護事業」を実施しています。しかし、高齢化の進展とともに契約件数が増加し、同時に重症化してきていることから「成年後見制度」での対応が必要となってきています。市内には成年後見制度の受け皿がなく、市外での手続きが必要な状況であることから、社会福祉協議会が主体として行う「福祉後見サポートセンター」の設置運営に対し支援します。



鉄道駅バリアフリー化事業

1,131万円

JR湖西線は、地域公共交通機関として市民生活において重要な役割を果たしています。しかし、湖西線は高架ホームであるため高齢者や交通弱者にとっては大きな負担で、バリアフリー化の推進が課題となっています。現在、市内6駅のうち近江今津駅と安曇川駅以外の4駅については未整備で、中でも近江高島駅については、公立高島総合病院の開院までにバリアフリー化を完了することが必要となっています。そのため、事業実施に向け近江高島駅周辺を重点整備区域とした交通バリアフリー基本構想の策定と概略設計を行い、平成23年度末の完成を目指します。

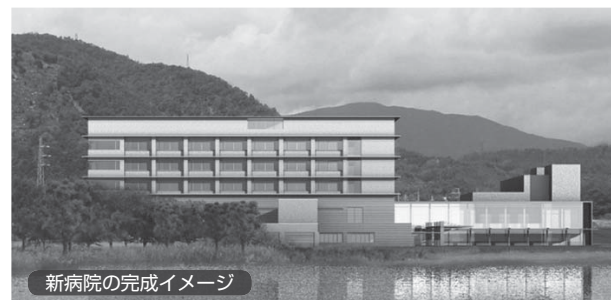


医 療 の 充 実

(仮称) 高島総合病院整備（新築）事業

15億9,278万円

公立高島総合病院は、老朽化が進み耐震基準を満たさない状況で、十分な医療環境が整っていない状況です。そのため、市の中核病院・24時間救急医療の拠点施設として、また災害拠点病院として、市民の皆さんに、より適切な保健医療サービスを提供することを目的に改築整備を行います。平成22年度から23年度の2年間で病院本棟の建築工事を実施します。新病院の開院は平成24年春を予定しており、その後既存南棟の改修工事、旧建物の解体工事、駐車場整備を行い、平成25年に全面完成を予定しています。



新病院の完成イメージ

実効性ある教育の推進

小中一貫教育推進事業

465万円

平成22年度から高島小中学校で小中一貫教育が本格実施されました。高島中学校区以外の地域においても、小中学校間の連携をより一層深めるため、「小中一貫教育実践校」の研究を進めます。また、系統的・継続的な学習指導や生徒指導を行い、子どもの健やかな成長を支えるため、市内全域で小中一貫教育を進めていきます。

